

皆様の声をカタチに

横浜市会議員 齊藤伸一

子宮頸がん等、3種類の

ワクチン無料接種が始まりました

ワクチン接種の有効性

子宮頸がんは、年間1万5千人以上の女性が発症し、3500人以上に上る大切な命が失われています。しかし、原因であるウイルスの感染を予防するワクチンの接種と定期的な検診により予防が可能です。

また、日本で毎年10000人以上の子宮頸がんは、年間1万5千人以上の女性が発症し、3500(30%)です。ヒブと肺炎球菌は、免疫力のない乳幼児の鼻やのどから容易に感染し、重症感染症を引き起こします。これに対するワクチン接種は、乳幼児の髄膜炎などの感染症に対して予防効果があります。

近いうち子どもたちが発症する細菌性髄膜炎の原因となる細菌が、ヒブ(60%)と肺炎球菌(30%)です。ヒブと肺炎球菌は、免疫力のない乳幼児の鼻やのどから容易に感染し、重症感染症を引き起こします。これに対するワクチン接種は、乳幼児の髄膜炎などの感染症に対して予防効果があります。

助成を含め全国どこでも接種を受けやすい環境を整備する必要がありますと訴えてきました。

また、公明党横浜市議団は、本会議・各委員会などの議論を通じて、接種費用の負担軽減など強く要望してきました。

昨年、国において補正予算が成立し、子宮頸がん等の新たな3種類のワクチン接種の事業方針が示されました。

これからの、皆様の声をカタチにすべく、全力で取り組んでいきたいと思っております。

公明党の取り組み

公明党は、これらのワクチン接種について、国が適切な接種年齢や実施方法を示し、公費

全額公費負担

国の事業方針では、9割の公費負担・1割の自己負担としていますが、横浜市では、3種類のワクチン接種事業が全額公費負担で、この2月



齊藤伸一
プロフィール

- ・昭和43年2月4日 横浜市生まれ
- ・産業能率大学 経営情報学部 卒業
- ・日立ソフトウェアエンジニアリング(株勤務後、衆議院議員上田いさむ秘書を務める。
- ・平成19年4月 横浜市会議員2期目当選
- ・横浜市会 市民・消防常任委員会 委員
- ・環境行動都市特別委員会 委員長
- ・公明党 横浜市議員団 政務調査会 事務局長
- ・家族 妻、娘(3歳)、息子(3カ月)
- ・坂本町在住

公明党の取り組み

公明党は、これらのワクチン接種について、国が適切な接種年齢や実施方法を示し、公費

ワクチン	対象年齢(横浜市民)	接種回数	予防効果が期待される主な病気
子宮頸がん 予防ワクチン	中1~高1 相当の女子	3回	子宮頸がん
ヒブワクチン	生後2カ月~5歳未満	4回~1回	細菌性髄膜炎 こう頭がい炎 肺炎
小児用 肺炎球菌 ワクチン	生後2カ月~5歳未満	4回~1回	細菌性髄膜炎 肺炎・中耳炎

●横浜市保健所 <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hokenjo/>
●横浜市ワクチン相談窓口 TEL: 045-671-4183 FAX: 045-664-7296

公明党 横浜市議員団 政務調査会 保土ヶ谷事務所

代表 齊藤 伸一

保土ヶ谷区仏向町196

TEL045-348-2237 FAX045-334-1777

<http://www.shin-shin.com> ☒ saito@shin-shin.com